

顧客の興味関心を引き、選ばれる！

最新技術×プロモーション

～XRをビジネスで活用する方法とは～

AR

VR

プロジェクション
マッピング

ドローンショー

はじめに

情報過多な現代社会では、**消費者の興味関心を引く**
プロモーションの難易度は上がっており、
企業のプロモーションご担当者の課題となっています。

そのような背景から、企業のプロモーション活動で

XRをはじめとした**最新技術の活用が進んでいます。**

この資料では、「**顧客の足を止め、選ばれる**」

プロモーションを実現するための最新技術と、その効果をご紹介します。

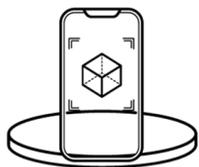
最新技術紹介

XRとは

XR（Extended Reality）は、現実世界と仮想世界を融合させた技術で、AR（拡張現実）、VR（仮想現実）、MR（複合現実）といった異なる技術の総称です。

AR

(Augmented Reality / 拡張現実)



現実世界の中にデジタルコンテンツを重ねて表示する技術です。

ユーザーは現実世界を見ながら、スマホやARメガネを通してさまざまな情報や3Dオブジェクトを確認できます。

VR

(Virtual Reality / 仮想現実)

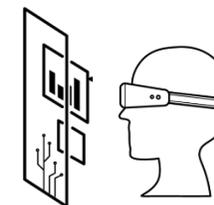


完全にコンピュータで作られた仮想空間に入り込む技術です。

専用のVRヘッドセットを使って、360度見渡せるバーチャルな世界を体験することができます。

MR

(Mixed Reality / 複合現実)



現実の世界と仮想のオブジェクトがリアルタイムで相互作用する技術です。

例えば、デジタルオブジェクトが現実空間に配置され、触ったり動かしたりする体験が可能です。

要注目 of 最新技術 ① プロジェクションマッピング

視覚的インパクト大！ 感覚に訴えて人々の興味を喚起！



■どんな技術？

建築や家具など凹凸のある面に投映を行い、映像の動きや変化で、オブジェクトそのものが動いたり、変形しているように錯覚させる映像表現です。

■ここが魅力！

- ・ **ゴーグルを使わず**に、複数人同時に非現実的空間の体験が可能！
- ・ 建築物などの投映対象に手を加えることなく、投影後も原状復帰が可能！

■活用シーン

- ・ 歴史的建造物や、施設壁面への投影で**施設集客・認知**に活用
- ・ 窓、天井、テーブルなど空間の一部に対して演出し、**利用者の満足度向上**

要注目 of 最新技術 ② ドローンショー

プログラミングによる多様な演出で空中に大規模なPRが可能！



■どんな技術？

数百台から多い場合は数千台のドローンを用いて空中に光や動きで演出を行うショーのことです。

■ここが魅力！

- ・ 大規模なため、当日、ショーを知らないひとにも認知させやすい。
- ・ 平面や立体など様々な形状や動きを作り出すことが可能！

■活用シーン

- ・ テーマパークなどのナイトショーでの使用で、**利用者の満足度向上**
- ・ 観光地のナイトイベントや、スポーツイベントでの活用で**集客向上**
- ・ ドローンで空中にQRコードを表現し、**アンケートやプレゼント企画を実施**

数字で見る 事例と効果

フェイストラッキング×AR×施設認知向上



弊社事例：富岡製糸場様

おもしろ系フィルターでSNSバズ！ PV200万超！

富岡製糸場様の認知向上施策として、SNSと親和性の高い若年層（主に若い女性）をターゲットに、最新トレンドを取り込んだARフォトフレーム企画。

自分の顔をトラッキングし、繭玉の中に自分の顔が入るようなインパクトのある仕様になっています。

数字で見る効果

PV数

200万PV

インプレッション数

90万回

シェア数

20万

観光×プロジェクションマッピング×経済効果



※画像はイメージです

出典：株式会社ネイキッド（2023年6月1日）「京都圏に約30万人を動員したネイキッドのアートプロジェクト、本年度も開催決定」

URL： <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000898.000008210.html>

最新技術を用いて京都圏に約30万人を動員！

京都の名所とデジタル技術がクロスオーバーする観光体験企画「NAKED GARDEN ONE KYOTO」では、リアルとバーチャルがクロスオーバーする新たな観光体験づくりが行われました。

イベントでは、プロジェクションマッピング・ARを活用したアートや企画が展開され、

京都の名所や伝統・文化と技術を最大限生かした催し物となり、京都市の分散型観光にも寄与しました。

数字で見る効果

イベント動員数
約30万人

経済効果(京都圏)
約50億円

最新技術をプロモーションに活用するメリット

ブランドロイヤリティの向上

XRによる没入感やインタラクティブな要素を取り入れることで、顧客に強い印象を与え、**ブランドロイヤリティを高める**ことができます。また、ARは**非AR体験に比べ70%ほど記憶に残りやすい**※と言われており、忘れられない体験の提供が可能です。

※Zappar社 研究レポート「How augmented reality affects the brain」参考
https://www.zappar.com/blog/how-augmented-reality-affects-brain/?fbclid=IwAR0T-b1wzJyqXm4akszI_mXPUn_8KUWETu_Fj8NzHeZYn_0OgCEhPpNPac

認知拡大、SNSシェア促進

最新技術の目新しさから**話題性**を生むことが可能なため、潜在顧客への認知拡大や、**SNSシェアの促進**が期待できます。また、視覚的インパクトが与えやすいため、屋外イベントや大型施設では、**一度で多くの人々にリーチすることも可能です。**

他社との差別化

最新技術を、既存コンテンツに加えることで**目新しさ**が生まれます。特に大規模な視覚的演出は、その独自性とエンターテインメント性から、他社との大きな差別化が可能になります。

顧客とのエンゲージメント強化

最新技術での特別な体験で、**愛着を持ってもらえる**ようになり、ファン化の促進・リピート効果が期待できます。また消費者に強力に没入感のある体験を提供し、ブランドの認知度やエンゲージメントを高めます。

サービス紹介

ProVisionのプロモーションDXサービス

伴走支援によりプロモーション施策の継続的成長と+@の価値提供を実現します

プロモーションPMOによる
データマーケティング・PJ支援

+

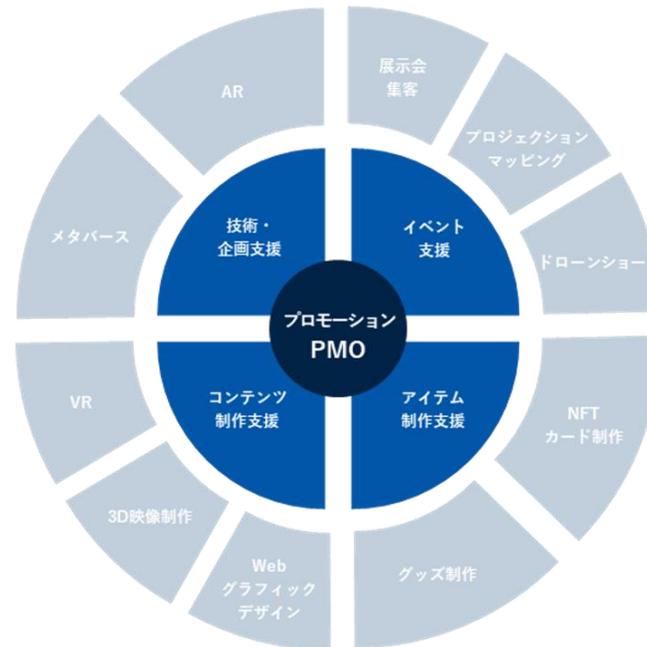
先端技術を用いた
クリエイティブ支援

データ分析・活用による施策提案

潜在課題の把握と打ち手立案

最適な手法と優先順位の把握

投資対効果のある施策の実行



話題性（バズ）の創造

未開拓層への認知獲得

お客様へ新しい体験提供

ブランディング

自社の「プロモーション効果」がわからないご担当者に

実施されているプロモーション施策がどのような顧客体験を生み、

効果を出しているのか**施策評価・分析支援**も可能です

＼ミニマム10万円からご提供／

プロモーションサービス 相談フォームはこちら

<https://www.pro-vision.jp/contact/>



こんな方にお勧めです

- ・プロモーション施策を担当しているが効果の説明が難しく、予算がとりづらい
- ・企画するプロモーション施策が直接・間接的にどんな効果に繋がっているのか分析し、次の施策アイデアに繋がりたい
- ・投資・費用対効果の報告の必要があるためレポート作成まで支援してほしい

弊社ではプロモーションDXを実現する幅広いご支援が可能です。

※一部サービスはパートナー企業との共同提案となります。

技術・企画支援

AR



専門チームが企画段階から支援
制作～効果測定までオーダー型のARを提供

メタバース



ロブロックをはじめとする
メタバース全般の企画～制作

コンテンツ制作

VR

VRコンテンツの
企画から制作まで



裸眼3D映像制作



LP/ポスター
制作

サイト課題分析
効果測定も可能



オリジナルイラスト制作



イベント支援

展示会集客

壁面・ブース
デザイン

AR×現地
集客支援

リード管理・
ツール導入

現地スタッフ
対応

リソース×ノウハウ
×技術提供で
集客と成果を最大化

プロジェクション
マッピング制作



企画から制作、機材準備
までワンストップで提供

ドローンショー



野外イベントで記憶に残る
ドローンショーを支援

アイテム制作

グッズ制作

対応製品は多種多様



アクスタをはじめとする
グッズ制作の企画から制作

NFTカード制作



ARの活用方法のご相談、ご質問等、お気軽にお問い合わせください



サービス資料請求

<https://promotion.ar-works.jp/material/>



お問い合わせ

<https://promotion.ar-works.jp/contact/>

記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。 本文書に記載している情報は、発表日時点のものです。

会社名	株式会社 ProVision (プロビジョン)
事業内容	ソフトウェアテスト・QA事業 システム開発事業 DX支援事業 プロモーション事業
従業員数	927名 (2024年9月2日時点)
設立	2005年4月
資本金	8,500万円
所在地	横浜本社 〒220-8140 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目2 横浜ランドマークタワー40階
電話番号	045-872-4000



ご要望・ご質問などお気軽にお問い合わせください

検索

